

Reborn

みんなのチカラで

みやぎの海岸防災林の再生が始まっています！



植栽活動



保育活動



東日本大震災で失われた海岸防災林を再生するために、宮城県は、国・関係市町・民間・団体等の皆様と協力して、種をまき、苗木を育て、植栽し、森林(もり)づくり活動を行ってきました。これからは植栽した苗木が、地域を守る海岸防災林に成長するように育て活動が始まっています。年を重ねるごとに豊かに再生するみやぎの海岸防災林にいま、注目が集まっています。



Join

みやぎの海岸防災林再生活動にご協力・ご協賛をお願いします！

自分たちの手で / みんなの森林づくり活動

各団体は「みやぎ海岸林再生みんなの森林づくり協定書」を結ぶことで、植栽されたクロマツ等の樹木が雑草等に被圧されることがなくなるまでの成長期間(5~10年程度)、継続的な森林整備を行うことができます。
※協定を締結するためには一定の条件があります。
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sinrin/minmor.html>

企業のPRに / 企業版ふるさと納税

「みやぎ海岸防災林はくみ育てる実践事業」は、海岸防災林の重要性を広くお知らせすると共に活動団体に支援をしている事業です。本事業へ寄付することで、従来の法人税軽減効果(3割)に加え、新たに寄付金の6割が税額控除されることにより、従来と比較して約3倍の節税効果があります。また、県の広報媒体を活用し寄付をいただいた企業をご紹介します。

海岸防災林再生を応援 / 緑の募金で進めようSDGs

緑の募金による森林づくりや緑化活動は、世界が直面している様々な課題解決に直結しています。使途限定寄付金を通して海岸防災林再生活動を支援していただくことが可能です。詳しくは公益社団法人宮城県緑化推進委員会の公式HPをご覧ください。
<http://miyagiryokusui.com/>

思い立ったら気軽に / ボランティアとして参加

個人で海岸防災林再生活動にボランティアとして参加したいという方も大歓迎です。森林作業の経験がない方も除草や清掃等できる活動はたくさんあります。ボランティアの一員として、海岸防災林の再生に携わってみませんか?活動に興味関心のある方はお気軽に宮城県森林インストラクター協会にお問い合わせください。

企業のCSR活動にお役立ください。



ご協力・ご協賛への詳しいお問い合わせは…

特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会
〒981-0121 宮城県利府町神谷沢字菅野沢41 青少年の森内
TEL&FAX:022-255-8223 mifi@bz04.plala.or.jp
<https://mifi.main.jp/>

宮城県 水産林政部 森林整備課保安林班

TEL:022-211-2325 sinsei@pref.miyagi.lg.jp
<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/sinrin/>

2025年9月発行 / このリーフレットはクラウドファンディングの寄附により作成しました /

みやぎの海岸防災林

ガイドマップ

Guide Map



宮城県

海岸防災林の役割

日本の多くの海岸防災林は「白砂青松」と呼ばれ、全国でクロマツを中心に植栽し、管理され、人々の暮らしや国土を守り支えてきました。みやぎの海岸防災林は、東日本大震災の津波で大部分が失われ、10年の歳月をかけて生育基盤整備をし、植栽し、今の姿まで再生しました。

今後は「災害に強い森林」「地域に愛され大切にされる森林」「震災を伝承する森林」という海岸防災林を目指していきます。



海岸防災林には、潮風や飛砂から農地や居住地を守ったり津波エネルギーを弱める防災機能はもちろん、豊かな生態系から、レクリエーションや環境教育の場などたくさんの役割があります。

Action!

自然とふれあい20年後30年後の郷土を育む。それが海岸防災林の森林づくり活動です。



震災直後の海岸防災林
平成23年3月11日に発生した東日本大震災の津波により、宮城県の沿岸部は甚大な被害を受けました。海岸防災林は面積約1,300haのほとんどで流失し、残ったクロマツも幹折れや倒伏。長年培われてきた美しい海岸防災林はそのほとんどが失われました。



盛土し生育基盤を整備
被害のあったエリアを調査したところ、地下に伸びるはずのクロマツの根は、地下水の影響でまっすぐ下に伸びず、横に伸びていたため、多くが倒伏したことが判明。新しい生育基盤では、クロマツの根がしっかり下に伸びるように地下水水位から2~3mの高さで盛土を行いました。



苗木を育て全ての面積を植栽
新しい海岸防災林は、厳しい環境でも力強く成長するクロマツとし、松くい虫に強い苗木が選定されました。一部では、小学生たちが種子を拾い育てた広葉樹も植栽されました。植栽が始まった当初は苗木が不足していましたが、日本全国から種子の提供など様々な協力を得て植栽を行うことができました。



今後は定期的な保育活動
植栽が完了すると、苗木の成長を妨げる雑草の除草作業が必要となります。作業は苗木が雑草に負けない高さになるまで続きます。その後、苗木が成長し過密になった林内では本数調整伐(抜き伐)を行い、植栽した木々のびのびと成長できるように育み管理を行っていきます。

観察

海岸防災林がはぐくまれ再生が進むとともに豊かな自然もかえってきました。



ハマヒルガオ

緑とピンクの絨毯を敷いたように広がります。



ウンラン

キンギョソウを小さくしたような可憐な花です。



ハマエンドウ

とても良い香りで初夏の海岸を飾ります。



ニセアカシア

北アメリカ原産の外来種で、日本生態学会により「日本の侵略的外来種ワースト100」に選ばれています。海岸防災林付近で急激に勢力を拡大しており、鋭いトゲに注意が必要です。



ミサゴ

海原にダイブして魚を採る様は圧巻です。

ミサゴ写真提供:特定非営利活動法人わたりグリーンベルトプロジェクト



ホンダタヌキ

夜行性で木の実やカニなどを食べています。



クロベンケイガニ

堀や河口付近でたくさん見られる陸ガニです。



ドクウツギ

海岸防災林付近で増殖している日本三大有毒植物の1つ、特に果実の摂取による死亡事故が多いので、要注意です。ムカデのような葉に、赤と黒の花のような果実が特徴的です。



震災前の海岸防災林(荒浜)

